

私がタスマニアで得られたもの

香川県立高松高等学校

普通科 2 年 桑村汐音

私はこの派遣事業で多くの学びを得ることができました。その中のいくつかを紹介します。

一つ目は英語の音の違いです。私がタスマニアに行って知りたいことについてのうちの一つが、「タスマニアの生の英語を聞き、違いに自分で触れる」というものでした。確かにタスマニアの英語は R の発音をしたりしなかったり、独特な言い回しがあったりなど面白い発見がありました。彼らの英語は少し特徴があったけれど、ホストファミリーは私が聞き取りやすいようにゆっくりわかりやすく話してくれました。また、ホバートカレッジではたくさんの方から生徒が集まっているため、オーギー・イングリッシュだけでなく、様々な英語の音に触れることができとても楽しかったです。

二つ目は学校での授業風景についてです。私たちは日本文化の紹介のために小学校と高校を訪れましたが、いずれも生徒がとても意欲的で「やりたい!」とみんなが参加してくれるおかげですごくやりやすかったです。また気づいたことや質問も積極的に話してくれたので、頑張って良かったなと思えることが何度もありました。この積極さは日本の学校生活に戻っても忘れることなく、興味のあることはどんどんチャレンジしていこうと思います。

三つ目はタスマニアで行われていた環境対策についてです。「世界一空気がおいしい島」ともよばれるタスマニア島ではどんな風に環境保全がされているのか興味があったからです。実際にホストファミリーに家で環境のためにしていることを尋ねたところ、水や生ごみを再利用して家庭菜園にしたり、ソーラーパネルやウォータータンクによって資源を自分たちで作ったりしているなどの工夫がありました。でも自然豊かな島だからといって何か特別なことをしているというわけではなく、どの家庭でも心がけられそうなところをきちんと当たり前に行っているように感じました。このタスマニアに住む人たちの意識の高さに驚くと同時に、自分もできることからやっていこうと思えました。

私はこのタスマニア派遣事業を通して、素敵なメンバーと素晴らしい体験ができて本当に良かったです。ここで得られたものを忘れずに、今後いろんな機会で生かしていきたいと思います。そして自分の夢への武器にしていきたいと思います。この活動を支えてくださった多くの方に感謝します。

ありがとうございました。



▲7月31日現地の高校生に日本文化を紹介している様子